

## 岩手県立福岡高等学校

校 長 佐々木 敬 二

学校住所 二戸市福岡字上平10 電話 0195-23-3385

- 1 会議の名称 平成29年度岩手県立福岡高等学校 第1回学校評議員会
- 2 会議の目的 学校運営等について地域住民代表から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。
- 3 会議の開催 平成29年7月5日(水) 15:00~16:30 福岡高校 第2会議室  
評議員4名と学校側9名

### 4 会議の概要

#### 次 第

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 出席者自己紹介
- 4 学校概況説明 (校長)・・・平成29年度学校経営計画  
(全日制教務)・・・ダッシュ70プラン・教育課程等  
(生徒指導)・・・部活動実績等  
(進路指導)・・・進路実績・カシオペア講座等  
(保健)・・・保健厚生関係  
(定時制教務)・・・定時制概況説明
- 5 質疑応答
- 6 提言
- 7 閉会

### 5 会議録

#### (1) 質疑応答 (15:45~)

- 評議員 今春の進路状況は、例年に比べてどうか。  
学校側 国公立大学合格者は、10数名減であった。ただ、学力が高いから国公立大学というわけではなく、高等看護専門学校、公務員に進む生徒や、関東の私立大学に進む生徒もいた。生徒が希望する進路に進ませたいと考えている。
- 評議員 7時間授業になって、生徒が行きたい進路に進めるようになったのか。  
学校側 昨年から7時間授業になったので、まだ目に見える成果があるという訳ではない。7時間授業も最初生徒たちは戸惑っていたようだが、だんだんと落ち着いて取り組んでいるので、今後成果が現れることを期待したい。
- 評議員 合格者数は延べ人数のようだが、どのくらい複数の大学を合格しているのか。  
学校側 私立大学は、一度の入試で複数合格することもあるので、複数合格しているケースが多い。国公立大学は実数と延べ数はほとんど差がない。
- 評議員 大学受験でAO入試と一般入試をどのように指導しているのか。  
学校側 特にAO入試を受けなさいという指導はしていない。ただし、様々な活動をしている生徒がいれば、紹介はしている。
- 評議員 今春の進路状況をどのように見ているのか。

- 学校側 模試分析は前年と比較して差がなく推移してきたが、期待した結果は出せなかった。改めて、原点に戻って本当の学力をつける指導、足元を固める指導をしていきたい。
- 評議員 難易度の高い私立の大学に入れるようにしてほしい。近年は、H高校へ生徒を持っていかれているので、H高校に負けない魅力作りをしなければならないのでは。
- 学校側 地元の人たちの関東の有名大学のイメージは、どのようなものか。例えば、芝浦工業大学の推薦といったらどのように感じるのか。
- 評議員 二戸には、関東の有名私大の大学を出ている人が多くいるので関心はあるはずだ。
- 評議員 今年の文化部の活動は、どのようになっているか。
- 学校側 書道・美術は全国大会に出場する。吹奏楽部は、今後がとても期待が持てる。
- 評議員 吹奏楽部の発表の機会がもっと増やせないか。
- 学校側 顧問とは今後発表の機会を広げようという話をしている。
- 評議員 今回は先生方の参加数が多いのはなぜが、今年福岡高校で問題は何かないのか。
- 学校側 今年から学校概況説明を各担当から丁寧に説明させようと考え、教員数を増やした。学校の方は特段の問題はなく、順調に進んできている。
- 評議員 文武両道は、今後も続けていく方針か。
- 学校側 もちろん、今後も文武両道で行きたい。
- 評議員 今の在校生の学力の状況は。
- 学校側 1年生に2・3人県内でもトップクラスの生徒がいる。ただ、模試成績でいうと上位層については年々薄くなっている。いずれにしても、生徒一人一人に丁寧に対応し、最後まであきらめないように指導していきたい。

## (2) 提言 (16:15~16:30)

- 評議員 ・部活も頑張る。学習も頑張る。それが福高。  
それをサポートするのが先生方なので、我が子と思って指導してほしい。
- 評議員 ・福高は、どこに行っても誇れる学校であってほしい。
- 評議員 ・部活、学習はもちろんだが、プラス1何かを持った魅力ある卒業生を送り出してほしい。プラス1とは、例えば地域での活動やボランティア活動である。
- 評議員 ・岩手銀行の頭取が本校OBなので、講演の機会などがあつたらいいと思う。
- 評議員 ・今春の学力検査の際に定時制の会場が分かりにくかったそうなので改善してほしい。
- 評議員 ・定時制の陸上での活躍はとても素晴らしかった。